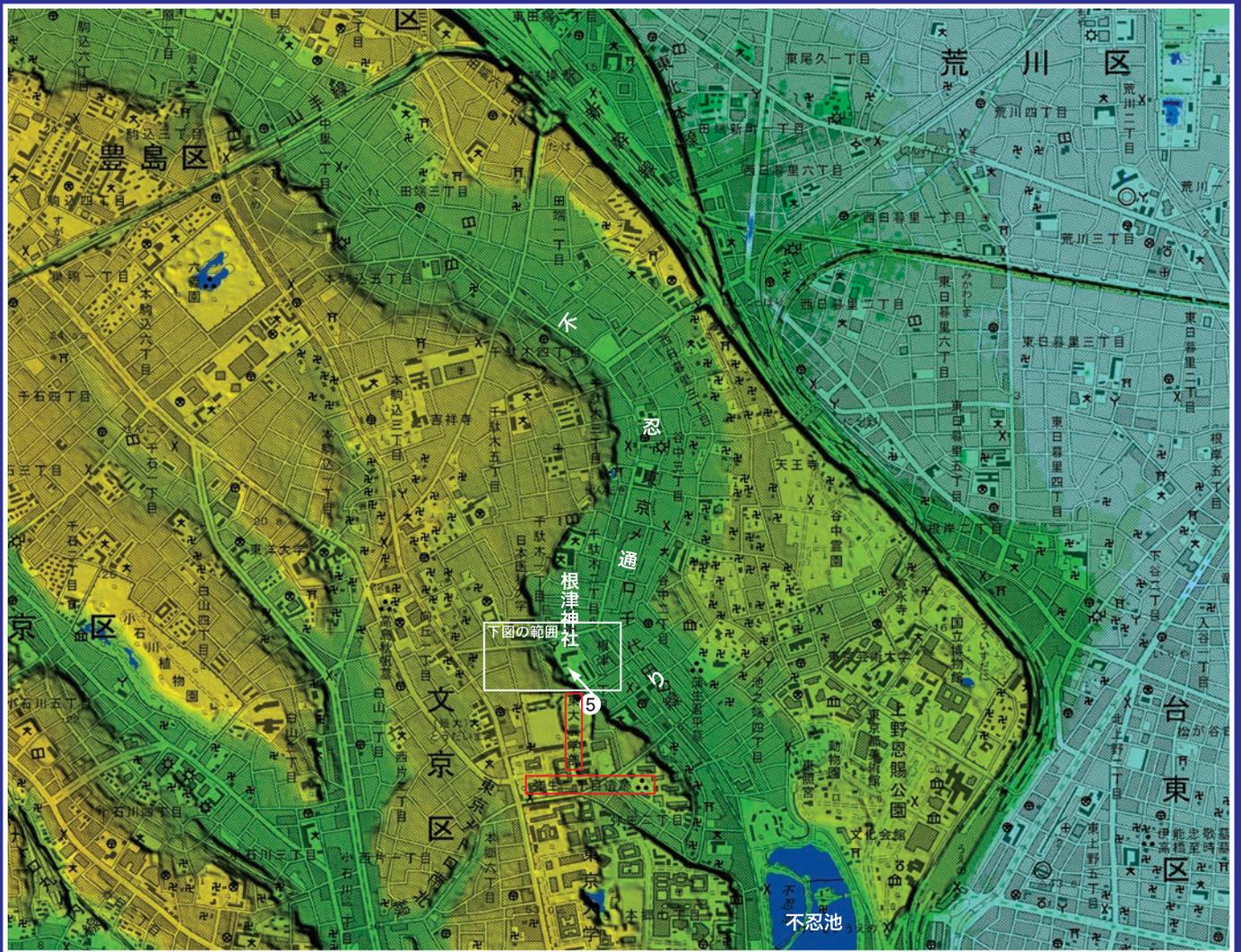


### 3. 谷田川による本郷の台地の浸食

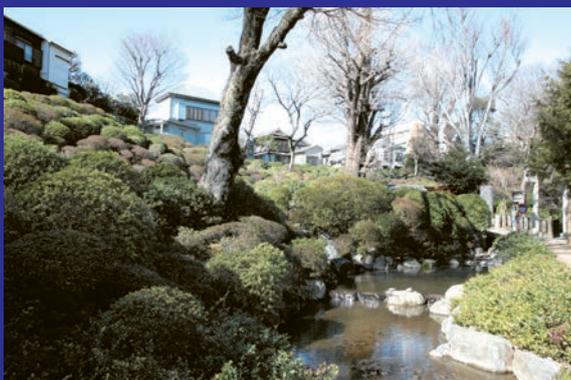


1:10,000地形図「上野」平成10年修正 (×2)

#### かつては川だった不忍通り

黄色の標高20m前後の部分は、武蔵野台地の東端です。現在不忍通りとなっている谷地形は、かつてここを流れていた谷田川（旧石神井川）が台地を削った跡です。その崖沿いにおおた どうかん太田道灌や五代将軍徳川綱吉にゆかりのある根津神社があります。境内の崖⑤を覆うつじをたどって登ると台地上には住宅地が広がっています。台地を縁取る崖は、いろいろなところで東京の緑地帯あるいは憩いの場となっていますが、根津神社もその一つです。

1:10,000地形図を見ると、坂道は6本の等高線が横切る急坂になっており、境内の高低差は5mあるのが分かります。台地上には、水戸藩の中屋敷や、弥生二丁目遺跡があります。明治時代の発掘当時は向ヶ岡弥生町という町名で、その名をとって弥生式土器と名づけられたのです。



⑤ 本郷台の崖：根津神社境内 (⑤地点より矢印方向を撮影)